



# 虹だより



令和6年度 虹のこころ保育園

暑い日が続いています。皆さん、水分はこまめに摂っていますか？  
7月下旬には夜間も30度を下回らない日がありました。30度を  
超える夜は「超熱帯夜」と言うそうです。年を追うごとに聞きなれな  
い単語が増えていくように感じます。

水遊びも気温が高すぎて見合わせていますが、機会を逃さず遊び  
たいと思っています。



## 8月予定

17日(土)お弁当持参日  
29日(木)誕生日会  
30日(金)避難訓練  
31日(土)お弁当持参日  
※13日～16日は家庭保  
育のご協力をお願いし  
ています

## 8月教室

体操教室…2、9、23、30日  
(2、3、4、5歳児)  
英語教室…6、20、27日  
(3、4、5歳児)  
音楽 …20、27日  
(4、5歳児)  
フラダンス…1日  
(クラス不定)



## 出欠アプリ記入のお願い

シフトを提出されている方も欠席の場合は登園アプリにも入力をお願いします。  
その都度が手数な場合はシフト勤務が分かった時点で全て入力していただけると良  
いと思います。  
お手数ですが、事故に繋がらないように心がけていますのでご協力、よろしくお願  
いします。

## 仲間との楽しい体験

自己肯定感育む朝日新聞のフォーラムで、遊ばない子どもたちと題してその現状や背景  
を探り、子どもにとって、どんな遊びが大切なのかという記事から、ある母親は「子ども  
を外で遊ばせるとき、肩身が狭い」そして、校庭以外にボール遊びをできる場所が近くに  
ない。放課後は学習塾で忙しい友達も多く、結局、その母親の子はやむを得ず、絵を描い  
たり、キーボードを弾いたりして、自宅で過ごすようになったと言う。

遊ぶ場所にも遊ぶ相手にも困っているのが実情だそうだ。その中で発達心理学者の内田  
伸子氏は外遊びによって育まれる能力について、「視力」「運動力」「言葉の力」を挙げてい  
る。

その育てる力とは

- ① **視力**…遠くの景色や手元を見比べることで近視が抑制される。
- ② **運動能力**…全身の筋肉を動かしたような動きができることで、自己肯定感が高まる。
- ③ **言葉の力**…保育者らと話しながら自然を実感することで自己の体験との違いや共通  
点を見分け、言葉のセンスが身につく。

としている。

内田氏が重要性を強調するのは「自発性」。しつけの方法が、子どもに命令や指示をす  
る「強制型」か、子どもに合わせて考える余地を与える「共有型」かで、育ち方への影  
響の違いを調べると、共有型の場合、子どもは考えて行動し、遊びに熱中する。強制型  
では、子どもは指示を待ち、顔色をうかがいながら遊ぶようになる。「強制的な訓練や  
一斉指導では、子どもの運動能力は伸びず、運動嫌いも多くなる」という別の報告もあ  
ると話している。



共有型のしつけを受け、遊びを大切にする保育で育った子どもは、読解力などの3分野で、成績が高くなった。絵本を読む  
体験が豊かで、造形遊び・ブロック遊びが多く、指先が器用な  
子どもも、同様の傾向がある。また、自発的な遊びを通して、  
他者と付き合う社会性や自制心、目標を達成する実行力、挑戦  
的などの「非認知能力」が育まれる。何より目標を達成したこ  
との喜びや達成感は大きく、楽しく習う「楽習体験」によって  
自己肯定感や探求心が高まる、という。

※保育園でも参考にし、たくさん遊ばせていきます。

ご家庭でも子育ての参考にしてみてください。

